

令和 6 年度

専攻科 学生募集要項

(出願書類添付)



区 分	出願期間	検査日	合格発表
推薦選抜	令和 5 年 5 月 8 日 (月) ～5 月 10 日 (水)	令和 5 年 5 月 18 日 (木)	令和 5 年 5 月 24 日 (水)
学力選抜	令和 5 年 5 月 29 日 (月) ～6 月 1 日 (木)	令和 5 年 6 月 14 日 (水)	令和 5 年 6 月 20 日 (火)
社会人特別選抜	令和 5 年 10 月 30 日 (月) ～11 月 1 日 (水)	令和 5 年 11 月 10 日 (金)	令和 5 年 11 月 16 日 (木)
外国人留学生 特別選抜	令和 5 年 10 月 30 日 (月) ～11 月 1 日 (水)	令和 5 年 11 月 10 日 (金)	令和 5 年 11 月 16 日 (木)

独立行政法人国立高等専門学校機構
秋 田 工 業 高 等 専 門 学 校
National Institute of Technology, Akita College

〒011-8511 秋田市飯島文京町1番1号
TEL (018) 847-6018
FAX (018) 847-0372
URL <https://www.akita-nct.ac.jp>

目 次

秋田工業高等専門学校専攻科案内	- - - - -	1
1. 設 置	- - - - -	1
2. 目 的	- - - - -	1
3. 専攻および入学定員	- - - - -	1
4. 修了要件	- - - - -	1
5. 各コースの教育方針	- - - - -	1
6. 学士の学位の取得方法	- - - - -	2
7. 入学時に必要な諸経費	- - - - -	2
8. 奨学制度	- - - - -	2
学生募集要項	- - - - -	3
Ⅰ アドミッションポリシー	- - - - -	3
Ⅱ 募集人員	- - - - -	3
Ⅲ 選抜の方法	- - - - -	3
推薦選抜	- - - - -	3
1. 出願資格	- - - - -	3
2. 出願手続	- - - - -	3
出願書類等	- - - - -	4
3. 選抜の方法	- - - - -	5
4. 選抜の日時と試験場	- - - - -	5
5. 合格発表	- - - - -	5
6. 入学確約書の提出	- - - - -	5
7. 推薦選抜の結果合格とならなかった場合の取扱い	- - - - -	5
学力選抜	- - - - -	6
1. 出願資格	- - - - -	6
2. 出願手続	- - - - -	6
出願書類等	- - - - -	6
3. 選抜の方法	- - - - -	8
4. 選抜の日時と試験場	- - - - -	9
5. 合格発表	- - - - -	9
社会人特別選	- - - - -	9
1. 出願資格	- - - - -	9
2. 出願手続	- - - - -	10
出願書類等	- - - - -	10
3. 選抜の方法	- - - - -	11
4. 選抜の日時と試験場	- - - - -	11
5. 合格発表	- - - - -	11

外国人留学生特別選抜	- - - - -	1 1
IV 出願に当たっての留意事項	- - - - -	1 2
V 個人情報の取扱いについて	- - - - -	1 2
VI 身体に障害を有する入学志願者との事前相談について	- - - - -	1 2
VII 入学手続	- - - - -	1 2

添付書類 1. 入学願書 2. 受験票・写真票 3. 調査書 4. 推薦書 5. 志願承諾書
6. 検定料振込用紙

秋田工業高等専門学校 専攻科案内

1. 設 置

平成 6 年 4 月

2. 目 的

高専本科等で修得した基礎概念および専門技術に加え，より専門的な技術の深化および周辺技術を融合させるとともにコミュニケーション能力を身につけ，技術者としてグローバルな視野をもってローカルな地で活躍できる人材を育成するため，また，複数の領域をまとめる総合力，異分野との境界領域に見出されるデザイン思考，予測不可能なことへの対応能力を備え，技術者倫理と危機管理を理解し，修得した高度で実践的な知識と技術を背景に，既存技術の転換や革新的な技術の開発をし，必要に応じた知識と技術を活用して課題を発掘しこれに取り組み，個人だけでなく他者との協同によって最良の解決策を導出できる人材をするための教育プログラムを導入することを目的とします。

3. 専攻および入学定員

専攻	コース	入学定員
グローバル地域創生工学専攻	機械工学コース	16名
	電気情報工学コース	
	物質工学コース	
	建設工学コース	

4. 修了要件

専攻科に2年以上在学し，学則第47条に規定する教育課程に基づき，62単位以上を修得した者について修了を認定します。

5. 各コースの教育方針

機械工学コース

本科課程の機械システムコースと知能機械コースにおいて修得した専門能力と，専攻科における物理学，数学等の基盤科目，リベラルアーツを基盤とし，他コースの基礎概念を融合化した上で，新たな機械システムや知能機械等の開発・製造ならびに応用技術等に深く関わる専門教育を行い，異分野の技術との融合にもチームとして果敢に挑戦し，境界領域における国際的な研究・開発能力によって地域創生に貢献するイノベティブな技術者を育成する。

電気情報工学コース

本科課程の電気・電子・情報系，電気エネルギーシステムコースと情報・通信ネットワークコースにおいて修得した専門能力と，専攻科における物理学，数学等の基盤科目，リベラルアーツを基盤とし，他コースの基礎概念を融合化した上で，ICTを駆使した先端デバイスによる電気機器システムならびに応用技術等に深く関わる専門教育を行い，異分野の技術との融合にもチームとして果敢に挑戦し，境界領域における国際的な研究・開発能力によって地域創生に貢献するイノベティブな技術者を育成する。

物質工学コース

本科課程の物質・生物系，マテリアル・プロセス工学コースとバイオ・アグリ工学コースにおいて修得した専門能力と，専攻科における物理学，数学等の基盤科目，リベラルアーツを基盤とし，他コースの基礎概念を融合化した上で，新物質・生体由来素材等の製造ならびに応用技術等に深く関わる専門教育を行い，異分野の技術との融合にもチームとして果敢に挑戦し，境界領域における国際的な研究・開発能力によって地域創生に貢献するイノベティブな技術者を育成する。

建設工学コース

本科課程の土木・建築系，国土防災システムコースまたは空間デザインコースにおいて修得した専門能力と，専攻科における物理学，数学等の基盤科目，リベラルアーツを基盤とし，他コースの基礎概念を融合化した上で，社会基盤の整備・防災・保全技術，都市および地域の計画・デザイン技術等に深く関わる専門教育を行い，異分野の技術との融合にもチームとして果敢に挑戦し，境界領域における国際的な研究・開発能力によって地域創生に貢献するイノベティブな技術者を育成する。

6. 学士の学位の取得方法

専攻科の修了要件を満たし，かつ，大学改革支援・学位授与機構が定める学位授与に必要な科目・単位を履修した上で審査に合格した者には「学士（工学）」の学位が授与され，4年生大学卒業者と同等の資格が与えられます。

ただし，専攻科入学前の最終教育機関によっては，大学改革支援・学位授与機構が定める修得単位審査基準を満たせず，学位授与申請ができない場合があります。

7. 入学時に必要な諸経費

令和5年度（予定額）

入 学 料 84,600円 …… 入学手続き時に必要

授 業 料 年額 234,600円 …… 年2回に分けて納付

前期分 117,300円は入学時に納付

* 授業料は，希望により前期分納付の際に，後期分も合わせて納付することができます。

* 上記入学料および授業料は予定額であり，高等専門学校機構本部からの通知により金額が改定される場合があります。

8. 奨 学 制 度

経済的理由により修学が困難な事情にあり，学業成績，人物ともに優れた学生のための奨学制度があります。

（1） 入学料・授業料免除制度

入学料 …… 入学前の1年以内において，学資を負担している者が死亡，または風水害等の災害を受けた場合で，入学料の納付が著しく困難であると認められる場合は，願出により選考の上，入学料を免除することがあります。

授業料 …… 災害等により授業料の納付が困難であり，かつ，学業優秀と認められる学生に対しては，授業料を免除することがあります。なお，経済的な理由による免除は下記（2）の日本学生支援機構の給付奨学金とあわせての申請となります。

（2） 奨 学 金

経済的理由により修学が困難な事情にあり，学業成績，人物ともに優れた学生のために独立行政法人日本学生支援機構の奨学制度があり，選考の上，奨学金が貸与されることがあります。その他地方公共団体等から奨学金を受けられる場合があります。

学 生 募 集 要 項

I アドミッションポリシー（入学者受入方針）

専攻科では、急激な社会構造の動きに同調でき、地域との連携活動を発展させた、より具体化・可視化した教育プログラムによって、グローバルな視点を持ち、ローカルな場での実践や影響力を発揮する高度な技術者等の人材の育成を目指している。

（求める人材像）

- ① 基礎専門学力を有し、実践的技術を支える先端知識を融合し、境界領域のこれまで未到達の技術をデザインすることに意欲のある人
- ② 社会の急激な変化に追従できるだけでなく地域社会のパラダイムシフトを創出することに意欲のある挑戦するマインドを備えた人
- ③ 地域のオープンイノベーション創出へ接続する志向を有する人

（入学者選抜方針）

専攻科では、調査書に重点を置くとともに、面接により工学の基礎能力と人物を見極める「推薦選抜」、一般科目・専門科目の学力試験に重点を置くとともに調査書と面接により人物を見極める「学力選抜」、面接（口頭試問を含む。）に重点を置くとともに調査書等の評価により人物を見極める「社会人特別選抜」、面接に重点を置くとともに外部試験等の評価により人物を見極める「外国人留学生特別選抜」を行うことにより入学者を決定する。いずれの選抜試験でも、入学後の希望コースの提出を受験者に求める。

II 募集人員

グローバル地域創生工学専攻 16 名

III 選抜の方法

入学者の選抜は、推薦選抜、学力選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜の四つの方法で行います。

推 薦 選 抜

1. 出願資格

次の各号すべてに該当する者とします。

- (1) 令和6年3月高等専門学校を卒業見込みの者
- (2) 系長が推薦する者（ただし、本校以外の者については在籍学校長が推薦する者）
- (3) 高等専門学校の第4学年の学年成績が次のいずれかであること。
 - ① 系席次が上位1／2以内（ただし、本校以外の者については学科席次が上位1／2以内）
 - ② 平均点がクラスの平均点以上であること。
- (4) 本校に合格した場合、確実に入学する者

2. 出願手続

- (1) 出願期間 令和5年5月8日（月）～ 令和5年5月10日（水）
（受付期間内必着とします。）

(2) 出願書類等

1. 入学願書	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。
2. 受験票・写真票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真（出願前3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向き、縦4cm×横3cmのもの）を貼ってください。
3. 調査書	本校所定の用紙に在籍（出身）学校長が記入の上、厳封したものとします。（高等学校から高等専門学校に編入学した者については、出身高等学校の調査書も添付してください。）
4. 推薦書	在籍学校別に用紙が違いますので、ご注意ください。 本校以外の在籍者…所定の用紙により在籍学校長が作成したもの。 本校の在籍者………所定の用紙により系長が作成したもの。
5. 検定料	16,500 円 本募集要項に綴じ込みの「検定料振込用紙」に志願者名を記入し、銀行で振り込んでください。 なお、振込後「振込金受取書」の写しを受験票・写真票の所定の欄に貼って提出してください。また、払込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。 （ア） 検定料を払い込んだが出願しなかった（出願書類等を提出しなかったまたは受理されなかった）場合 （イ） 検定料を誤って二重に払い込んだ場合 （注） 返還に伴う振込手数料は、志願者本人の負担となります。 【郵便局（ゆうちょ銀行）からの振込手続きについて】 検定料は郵便局（ゆうちょ銀行）からも振り込むことが出来ます。その際は、以下の条件を満たしてください。 ①ゆうちょ銀行からの振込は、志願者本人名のゆうちょ銀行口座からのみ可能で、現金による振込は出来ません。ご利用の際は、「通帳とお届け印」または「キャッシュカード」が必要となります。 ②ゆうちょ銀行からの振込は、本要項に添付されている振込依頼書を使用することはできません。窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書」を受け取り、それにより振り込んでください。 ③振込後は「振替払出請求書預金口座振替による振込受付書」を受領し、その写しを受験票・写真票の所定の欄に貼って提出してください。
6. 受験票送付用封筒	志願者の郵便番号、住所および氏名を記入し、（自宅外の者は、〇〇方まで記入）84円分の郵便切手を貼ってください。 直接願書を持参する場合は不要です。
7. 在留カードの写しまたは「外国人登録済証明書」	外国人で、現に日本に在留している志願者は、在留カードの写しまたは市区町村長が発行する「外国人登録済証明書」を提出してください。

(3) 出願方法

出願書類等を一括して、本校学生課教務係へ持参または郵送にて提出してください。

持参の場合は、出願期間中の各日9時から16時までの間に本校学生課教務係へ持参してください。

郵送の場合は、必ず**書留郵便**とし、封筒の表に「**専攻科出願書類在中**」と**朱書**してください。
郵送先：秋田工業高等専門学校 学生課教務係 〒011-8511 秋田市飯島文京町1番1号

(4) 出願上の留意事項

- ① **出願書類に不備がある場合は、受理しません。**
- ② 願書提出後は、志望コースおよびその他の記載事項の変更は認めません。また、一度受理した出願書類は返還しません。
- ③ 出願書類の記載事項と相違の事実が判明した場合は、入学を取り消すことがあります。
- ④ 出願手続を完了した際に、受験票を交付します。
- ⑤ 出願等に関し不明な点があるときは、本校学生課教務係へお問い合わせください。

3. 選抜の方法

入学者の選抜は、推薦書、調査書および面接の結果を総合して行います。

4. 選抜の日時と試験場

期 日	区 分	時 間	試 験 場
5月18日(木)	面 接	9：00～	秋田工業高等専門学校

当日は必ず受験票を持参し、8時45分までに、受付を済ませてください。

5. 合格発表

令和5年5月24日(水) 13時(予定)、本校正面玄関前に合格者の受験番号を掲示するとともに合格者には文書で通知します。

また、本校のホームページに合格者の受験番号を掲載します。

なお、電話等による可否の問い合わせには応じません。

6. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、『**入学確約書**』を**令和5年6月2日(金) 17時までに**本校学生課教務係へ提出してください。

なお、**期限までに『入学確約書』を提出しない者は、本校に入学の意志がない者**として取り扱い
ます。

7. 推薦選抜の結果合格とならなかった場合の取扱い

「推薦選抜」の結果、合格とならなかった者で「学力選抜」を希望する者は、「学力選抜」の願書受付期間内に次の手続を取ってください。

(1) 入学願書、受験票・写真票を提出し、受験票の交付を受けてください。

(2) 検定料 16,500 円を「検定料振込用紙」により納付してください。

学 力 選 抜

1. 出願資格

次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 高等専門学校を卒業した者または令和6年3月卒業見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者または令和6年3月卒業見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者または令和6年3月修了見込みの者のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者
- (4) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされる者に限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (7) その他専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

2. 出願手続

- (1) 出願期間 **令和5年5月29日(月)～令和5年6月1日(木)**

出願期間中各日9時から16時までの間に本校学生課教務係へ持参または郵送してください。(受付期間内必着とします。)

- (2) 出願書類等

1. 入学願書	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。
2. 受験票・写真票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真(出願前3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向き、縦4cm×横3cmのもの)を貼ってください。
3. 調査書	本校所定の用紙に在籍(出身)学校長が記入の上、厳封したものとします。(高等学校から高等専門学校に編入学した者については、出身高等学校の調査書も添付してください。)
4. 検定料	16,500 円 本募集要項に綴じ込みの「検定料振込用紙」に志願者名を記入し、銀行で振り込んでください。 なお、振込後「振込金受取書」の写しを受験票・写真票の所定の欄に貼って提出してください。また、払込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。 (ア) 検定料を払い込んだが出願しなかった(出願書類等を提出しなかったまたは受理されなかった)場合 (イ) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合 (注) 返還に伴う振込手数料は、志願者本人の負担となります。 【郵便局(ゆうちょ銀行)からの振込手続きについて】 検定料は郵便局(ゆうちょ銀行)からも振り込むことができます。その際は、以下の条件を満たしてください。 ①ゆうちょ銀行からの振込は、志願者本人名のゆうちょ銀行口座からのみ可能で、現金による振込は出来ません。ご利用の際は、「通帳とお届け印」または「キャッシュカード」が必要となります。 ②ゆうちょ銀行からの振込は、本要項に添付されている振込依頼書を使用することはできません。窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書」を受け取り、それにより振り込んでください。 ③振込後は「振替払出請求書預金口座振替による振込受付書」を受領し、その写しを受験票・写真票の所定の欄に貼って提出してください。

5. TOEIC [®] Listening & Reading Test スコア	学力検査科目の英語（一般科目）において、筆記試験を行わず TOEIC の点数により評価します。TOEIC [®] Listening & Reading Test（TOEIC IP 含む）（学力検査日を基準に 2 年以内に取得したスコア）の公式認定証またはスコアレポートの原本を出願時に提出してください。複数回受験している場合、最も高い得点のものを提出してください。なお、原本は確認後に返却します。
6. 受験票送付用封筒	志願者の郵便番号、住所および氏名を記入し、（自宅外の者は、〇〇方まで記入）84 円分の郵便切手を貼ってください。 直接願書を持参する場合は不要です。
7. 在留カードの写しまたは「外国人登録済証明書」	外国人で、現に日本に在留している志願者は、在留カードの写しまたは市区町村長が発行する「外国人登録済証明書」を提出してください。

（３）出願方法

出願書類等を一括して、本校学生課教務係へ持参または郵送にて提出してください。

持参の場合は、出願期間中の各日 9 時から 16 時までの間に本校学生課教務係へ持参してください。

郵送の場合は、必ず書留郵便とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書してください。

郵送先：秋田工業高等専門学校 学生課教務係 〒011-8511 秋田市飯島文京町 1 番 1 号

（４）出願上の留意事項

- ① **提出書類に不備がある場合は、受理しません。**
- ② 願書提出後は、志望コースおよびその他の記載事項の変更は認めません。また、一度受理した出願書類は返還しません。
- ③ 出願書類の記載事項と相違の事実が判明した場合は、入学を取り消すことがあります。
- ④ 出願手続を完了した際に、受験票を交付します。
- ⑤ 出願等に関し不明な点があるときは、本校学生課教務係へお問い合わせください。

3. 選抜の方法

入学者の選抜は、学力検査、面接および調査書の結果を総合して行います。

学力検査科目

ア. 一般科目 数学・物理学（100 点）

出題範囲は、次表のとおりです。

数学	微分積分・偏微分・重積分・微分方程式
物理学	力学（解析力学は除く）

イ. 一般科目 英語（150 点）

学力検査科目の英語（一般科目）においては、TOEIC の点数により評価します。TOEIC[®] Listening & Reading Test（TOEIC IP 含む）（学力検査日を基準に2年以内に取得したスコア）の公式認定証またはスコアレポートの原本を出願時に提出してください。複数回受験している場合、最も高い得点のものを提出してください。

【TOEIC[®] Listening & Reading Test スコア換算点計算式】

$$\text{換算点} = \frac{\text{TOEIC}^{\text{®}} \text{ Listening \& Reading Test スコア}}{7} \times 1.5$$

ただし、TOEIC[®] Listening & Reading Test スコア700点以上は、換算点を150点とする。

ウ. 専門科目（100 点）

各コースの出題範囲は、次表のとおりです。

志願者はコースごとに専門基礎科目3科目から2科目を選択して解答してください。

コース	専門基礎科目
機械工学コース	機械加工学 熱力学（注1） 機械設計学
電気情報工学コース	電気回路 電気磁気学 情報処理（注2）
物質工学コース	生物化学 有機化学 無機化学
建設工学コース	構造力学 地盤工学 水理学

注1：「伝熱学」を除く。

注2：「論理回路」「データ構造とアルゴリズム」とする。

4. 選抜の日時と試験場

期 日	科 目 等	時 間	試 験 場
6 月 1 4 日 (水)	専門科目	9:00～10:00	秋田工業高等専門学校
	数学・物理学	10:30～12:00	
	面 接	13:00～	

注意事項

- (1) 試験当日は、8 時 3 0 分までに受付を済ませてください。
- (2) 試験中は、受験票、メガネ、鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、定規、コンパス以外のものは机の上に置かないでください。ただし、専門科目受験時には、本校から電卓（関数機能付き シャープ E L - 5 7 8）を貸与しますので、その電卓は使用しても構いません。
- (3) 携帯電話等の通信機器（電源を切った状態のもの）および時計は、試験室へ入る前にカバン等の中に入れてください。なお、試験室には時計を設置します。

5. 合格発表

令和 5 年 6 月 2 0 日（火）1 3 時（予定）、本校正面玄関前に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には文書で通知します。

また、本校のホームページに合格者の受験番号を掲載します。

なお、電話等による可否の問い合わせには応じません。

社会人特別選抜

1. 出願資格

次のいずれかに該当する者で、かつ出願時において企業等の在職経験（※）が 1 年以上ある者としてします。

- (1) 高等専門学校を卒業した者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者のうち、学校教育法第 132 条の規定により大学に編入することができる者
- (4) 外国において、学校教育における 14 年の課程を修了した者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 14 年の課程を修了した者
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における 14 年の課程を修了したとされる者に限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (7) その他専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※企業等の在職経験には、常勤・非常勤の別はありません。ただし、主たる身分が学生の場合、アルバイト等は在職経験には含みません。

2. 出願手続

(1) 受付期間 **令和5年10月30日(月)～令和5年11月1日(水)**

出願期間中(土・日を除く)各日9時から16時までの間に本校学生課教務係へ持参または郵送してください。(受付期間内必着とします。)

(2) 出願書類等

1. 入学願書	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。
2. 受験票・写真票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真(出願前3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向き、縦4cm×横3cmのもの)を貼ってください。
3. 調査書	本校所定の用紙に在籍(出身)学校長が記入の上、厳封したものとします。(高等学校から高等専門学校に編入学した者については、出身高等学校の調査書も添付してください。)
4. 在職経験に関する証明書	過去に在職した企業等が発行する、在職経験が1年以上あることを記載した証明書(在職期間、職務内容、身分等を記載)を提出してください。＜様式任意＞
5. 志願承諾書	企業等に在職のまま出願する志願者のみ、本校所定の用紙を使用し、所属の長が作成したものを提出してください。なお、この志願承諾書に記載された在職期間が1年以上の場合は、上記の「在職経験に関する証明書」を提出する必要はありません。
6. 検定料	16,500 円 本募集要項に綴じ込みの「検定料振込用紙」に志願者名を記入し、銀行で振り込んでください。 なお、振込後「振込金受取書」の写しを受験票・写真票の所定の欄に貼って提出してください。 また、払込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。 (ア) 検定料を払い込んだが出願しなかった(出願書類等を提出しなかったまたは受理されなかった)場合 (イ) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合 (注) 返還に伴う振込手数料は、志願者本人の負担となります。 【郵便局(ゆうちょ銀行)からの振込手続きについて】 検定料は郵便局(ゆうちょ銀行)からも振り込むことができます。 その際は、以下の条件を満たしてください。 ①ゆうちょ銀行からの振込は、志願者本人名のゆうちょ銀行口座からのみ可能で、現金による振込は出来ません。ご利用の際は、「通帳とお届け印」または「キャッシュカード」が必要となります。 ②ゆうちょ銀行からの振込は、本要項に添付されている振込依頼書を使用することはできません。窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書」を受け取り、それにより振り込んでください。 ③振込後は「振替払出請求書預金口座振替による振込受付書」を受領し、その写しを受験票・写真票の所定の欄に貼って提出してください。
7. 受験票送付用封筒	志願者の郵便番号、住所および氏名を記入し、(自宅外の者は、〇〇方まで記入)84円分の郵便切手を貼ってください。 直接願書を持参する場合は不要です。
8. 在留カードの写しまたは「外国人登録済証明書」	外国人で、現に日本に在留している志願者は、在留カードの写しまたは市区町村長が発行する「外国人登録済証明書」を提出してください。

(3) 出願方法

出願書類等を一括して、本校学生課教務係へ持参または郵送にて提出してください。

持参の場合は、出願期間中（土・日を除く）各日 9 時から 16 時までの間に本校学生課教務係へ持参してください。

郵送の場合は必ず**書留郵便**とし、封筒の表に「**専攻科出願書類在中**」と**朱書**してください。

郵送先：秋田工業高等専門学校 学生課教務係 〒011-8511 秋田市飯島文京町 1 番 1 号

(4) 出願上の留意事項

- ① **提出書類に不備がある場合は、受理しません。**
- ② 願書提出後は、志望コースおよびその他の記載事項の変更は認めません。また、一度受理した出願書類は返還しません。
- ③ 出願書類の記載事項と相違の事実が判明した場合は、入学を取り消すことがあります。
- ④ 出願手続を完了した際に、受験票を交付します。
- ⑤ 学士（工学）の学位の取得を希望する者は、「IV 出願に当たっての留意事項」を参照してください。
- ⑥ 出願等に関し不明な点があるときは、本校学生課教務係へお問い合わせください。

3. 選抜の方法

入学者の選抜は、調査書および面接(口頭試問(物理 1 問・専門 2 問の計 3 問)を含む。)の結果を総合して行います。

4. 選抜の日時と試験場

期 日	区 分	時 間	試 験 場
11月10日(金)	面接 (口頭試問(物理 1 問・専門 2 問の計 3 問)を含む)	13:00～	秋田工業高等専門学校

当日は必ず**受験票**を持参し、**12時30分までに受付を済ませてください。**

5. 合格発表

令和 5 年 11 月 16 日（木）13 時（予定）、本校正面玄関前に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には文書で通知します。

また、本校のホームページに合格者の受験番号を掲載します。

なお、電話等による可否の問い合わせには応じません。

外国人留学生特別選抜

外国人留学生特別選抜については、「2024 年度専攻科外国人留学生特別選抜学生募集要項」をご覧ください。

IV 出願に当たっての留意事項

令和6年3月本校学科（準学士課程）を卒業見込みの出願者以外の者で、本校専攻科修了時に学士（工学）の学位の取得を希望する者は、出願締切の2週間前までに学生課教務係に照会してください。

専攻科の修了要件を満たし、かつ、大学改革支援・学位授与機構が定める学位授与に必要な科目・単位を履修した上で審査に合格した者には「学士（工学）」の学位が授与され、4年生大学卒業者と同等の資格が与えられます。

ただし、専攻科入学前の最終教育機関によっては、大学改革支援・学位授与機構が定める修得単位審査基準を満たせず、学位授与申請ができない場合があります。

V 個人情報の取扱いについて

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報および選抜に用いた試験成績・評価など入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- （1）入学後の修学指導および学生支援
- （2）入学金、授業料の免除申請の審査
- （3）奨学金申請の審査
- （4）本校および国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

VI 障害等を理由とした合理的配慮に関する事前相談について

受験に当たって、障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する場合は、合理的配慮の検討をする都合上、早めに本校へ相談してください。なお、合理的配慮に関する申請および問い合わせ内容は、試験の合否判定には一切影響はありません。

VII 入学手続

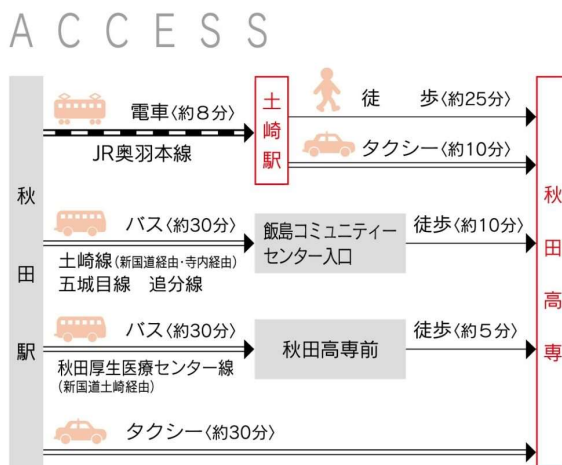
令和6年3月上旬に、別途通知します。

受験会場案内

秋田工業高等専門学校

〒011-8511 秋田県秋田市飯島文京町1番1号

TEL:018-847-6017



令和 6 年度 秋田工業高等専門学校
専 攻 科 入 学 願 書

選 抜 区 分	※ □ 推薦選抜 □ 学力選抜 □ 社会人選抜					
志 望 コ ー ス				コ ー ス	受 験 番 号	※
志 願 者	ふりがな			生 年 月 日	昭和 年 月 日生 平成	
	氏 名			性 別	男 ・ 女	
	出 資 願 格	高等専門学校 学 科 短期大学 科 専修学校 科				
		年 月 日 卒業・卒業見込・修了・修了見込				
	ふりがな					
	現 住 所					
	郵便番号	—	電 話 番 号	() —		
	受 験 の た め の 連 絡 場 所 (現住所以外の 場合記入)	〒 — 電話番号 () —				
	学 歴 お よ び 職 歴	年 月 日				
		年 月 日				
年 月 日						
年 月 日						
年 月 日						
※ 勤 務 先	名 称 (部 課)					
	所 在 地	〒 — 電話番号 () —				

- 記入上の注意
- 1． 楷書で正確かつ明瞭にボールペン（黒または青）で記入してください。
 - 2． ※印の欄は，記入しないでください。
 - 3． 学歴および職歴欄は，高等専門学校または高等学校入学後から記入してください。
 - 4． *印の欄は，企業等に在職のまま入学を志望する者のみ記入してください。

この罫線枠内に振込金受取書(コピー)を貼ってください。

切り離さないでください

令和6年度
秋田工業高等専門学校

受 験 票

選抜 区分	※ ☐ 推薦選抜 ☐ 学力選抜 ☐ 社会人特別選抜
志望 コース	コース
受験 番号	※
氏名	(自署してください)
写真貼付欄 (全面糊付) 1. 出願前3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向きのもの。 2. サイズは、縦4 cm × 横3 cm。 3. 白黒またはカラーのいずれでも可	

注) ※印の欄は記入しないでください。

令和6年度
秋田工業高等専門学校

写 真 票

選抜 区分	※ ☐ 推薦選抜 ☐ 学力選抜 ☐ 社会人特別選抜
志望 コース	コース
受験 番号	※
氏名	年 月 日生
写真貼付欄 (全面糊付) 1. 出願前3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向きのもの。 2. サイズは、縦4 cm × 横3 cm。 3. 白黒またはカラーのいずれでも可	

注) ※印の欄は記入しないでください。

切り離さないでください

令和 6 年度 秋田工業高等専門学校

入学者選抜試験 調査書

志 望 コース	コース		受験番号	※	
ふりがな			学 校		
氏 名			学科名	学科	
生年月日	昭和 年 月 日生 平成	昭和 平成 令和	年	入学・編入学 月 日 転入学	
性 別	男 ・ 女	昭和 平成 令和	年	卒 業 月 日 卒業見込	
成 績 証明書	出身学校所定の用紙を使用し，当該学校長が作成したものを添付してください。（成績の評価を評語で記入の場合は，評語の評基準を明示してください。）				
学 科 内 席 次	1 年	人 中	位	評 語 の 評 点 基 準	
	2 年	人 中	位	A	優 点～点
	3 年	人 中	位	B	良 点～点
	4 年	人 中	位	C	可 点～点
	5 年	人 中	位	D	不可 点～点
卒 業 研 究 題 目					
在 学 中 の 状 況	(人物・課外活動・生活態度等を記入してください。)				
上記のとおり相違ないことを証明する。 令和 年 月 日 学 校 名 学校長名 印					

(注) ※印の欄は，記入しないでください。

推薦選抜

受験番号 ※

(秋田工業高等専門学校以外からの志願者用)

推 薦 書

令和 年 月 日

秋田工業高等専門学校長 殿

所在地：

学校名：

学校長名：

印

下記の者は、下記記載のとおり、学業成績、人物ともに優秀であり、貴校専攻科入学者としてふさわしい資質をもつ者として認めて推薦します。

記

推薦学生氏名： _____

志望コース： _____ コース

所属学科等： _____

卒業見込年月日： 令和 年 月 日卒業見込み

推薦理由	
その他の参考事項	

記載者職氏名

印

(注)※印の欄は、記入しないでください。

推薦選抜

受験番号 ※

(秋田工業高等専門学校からの志願者用)

推 薦 書

令和 年 月 日

秋田工業高等専門学校長 殿

所属系：

系長名： 印

下記の者は、下記記載のとおり、学業成績、人物ともに優秀であり、本校専攻科入学者としてふさわしい資質をもつ者として認めて推薦します。

記

推薦学生氏名： _____

志 望 コース： _____ コース

卒業見込年月日： 令和 年 月 日卒業見込み

推 薦 理 由	
その他の 参考 事項	

担任教員氏名 印

(注)推薦書に記入者は、原則として本人の5年次担任教員とします。
※印の欄は、記入しないでください。

令和 年 月 日

志 願 承 諾 書

秋田工業高等専門学校長 殿

(勤務先・所属長)

印

下記の者が、貴校の専攻科(コース)入学者選抜試験に
志願することを承諾いたします。

記

志 願 者 氏 名

生 年 月 日 年 月 日

所 属 部 ・ 課 ・ 係

在 職 期 間 自 年 月 日

至 現 在

検 定 料 振 込 用 紙

※ 検定料振り込みに関するお願い

- 願書提出前にお近くの銀行で振り込んでください。(秋田銀行で振り込みますと、手数料が割安となります。)
- 志願者本人のお名前で振り込んでください。
- 銀行から渡される「振込金受取書」のコピーを受験票・写真票の上段の所定の欄に貼ってください。
- 自動振込機での振り込みはできません。

ここから切り取って使用してください。

☐振込金受取書 (兼手数料領収書)
☐預金口座払戻請求書による振込受付書 (兼手数料領収書)
預金口座振替
※該当するものに○ (又は▽) を表示します

依 頼 日	年 月 日
金 額	百万 千 円 1 6 5 0 0
振込先	秋田銀行 港北支店
受取人	独) 国立高等専門学校機構
依頼人 (志願者)	お名前

手数料	円
-----	---

(消費税等が含まれています)

(取扱店)	銀行	収 納 印	印 紙
	支店		

(本人保存)

振 込 通 知 書 電信扱
(検 定 料)

下記のとおり、振り込みましたので通知します。

依 頼 日	年 月 日
金 額	百万 千 円 1 6 5 0 0
振 込 先	秋田銀行 港北支店 1 普通預金 267213 独) 国立高等専門学校機構
依頼人 (志願者)	お名前 ご住所 〒

(取扱店)

銀行
支店

(取扱店 → 取りまとめ店 → 秋田工業高等専門学校)

電信扱

振 込 依 頼 書

科目

依 頼 日	年 月 日	振込指定	電 信 扱	手数料	円
振 込 先	秋田銀行 港北支店			金 額	百万 千 円 1 6 5 0 0
受 取 人	1 普通預金 267213			内 訳	現金
	ドク コクリツコウトウセンモンガッコウキコウ				当手
	独) 国立高等専門学校機構				他手
依頼人 (志願者)	フリガナ				
	お 名 前				
	ご住所 〒				
電話番号 () -					

取扱銀行へお願い 太枠内を打電してください。

(取扱店保存)